

「美しく碧きドナウ」ほか4曲をレッスン

4月17日

□ 4月17日（金）の定例レッスンは、奥村さんの体操に始まり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで「美しく碧きドナウ」、伊藤副指揮者に代わって「ねがい」と「なぜ？」また本並先生の指揮に戻って、合発曲の「春を待つ」と「道」をレッスンしました。地方選挙戦前半が終わったこともあり、参加者は回復して全33名でした。

レッスンーロ×モ

□ 「美しく碧きドナウ」

- ・「野を越えて」；思い切りスタッカートで。ただしテヌートのところは効かせる。
- ・「ひかりを」；バリトンの「を」は「り」と同じ音。下がらないようにする。
- ・「こだました」；「した」は rit で。「た」のあとの休符はフェルマータをつける。
- ・「ありし頃を偲んで～今もなお歩む」；千秋さんと伊藤さんのデュエットで。
- ・「ドナウドナウそを巡る思い出は～」；生き生きとアクセントを十分つけて（ben marcato）。
各人で練習すること

□ 「ねがい」

- ・「ちいさな川に」；p だが、息を使い切り表現。四分休符はたっぷり息を吸う。
- ・「ゆれる川面に」；低い音だが、重い声質にならないよう。上に響かせて。
- ・「もひとつのねがい」；「もひとつの」と、1音ずつ刻んだ歌い方をせず、レガートに。
- ・「まちつづけたねがい」；バス：音を押して低くなる。下腹部を保ってレガートに。



「なぜ？」のなぜ？

投稿者: きはまる

「なぜ？」に強いこだわりを覚える。

生まれも育ちも現在地、生野区巽。小学校四年生の時、クラスの三分の一くらいは半島人の二世だったように思う。横町を曲がれば白いチマ、チョゴリの在日一世のおばあさんが長屋の前で籠にアヒルや鶏を飼っていた。賑やかな冠婚葬祭の行列、その都度、朝鮮風の餅やささやかな料理のふるまいのおこぼ

れにあずかったものだ。友だちもいっぱい出来た。

「なぜ？」の曲名に込められた林光さんの思いに強い強い共感を持つ。八月十五日の光蘇える祭り、つまり光復節は韓国で最も重要な祝日だ。永い虐げられた時代からの独立記念日なのだ。その日を待たず、無念の死を遂げた人々の思い。溶けてよじれた一升瓶からこの曲を書いてくれた林さんにただただ頭が下がる。



北朝鮮に帰った親友を大阪駅で涙で送った日。その後何の便りもないあいつを思わぬ訳はない。

「なぜ？」 一番最後のこの言葉に万感の思いを込めていつも歌う。心の中では「なぜ？」ではなく、「何でやねん?!」といつも叫んでいる。

コンサート第一部の曲を中心にレッスン

4月19日

□ 4月19日（日）の定例レッスンは、佃さんの体操と本並先生のヴォイストレーニングに始まり、この日はコンサート第一部の曲を中心に、本並先生の指揮で「春を待つ」、「淀川三十石舟唄」、「初心のうた」、伊藤副指揮者の指揮で「林道人夫」、「ゆらゆら春」、「死んだ男の残したものは」、再び本並先生の指揮で「歓びのナーダム」と「道」をレッスンしました。参加は全28名でした。



レッスンメモ：楽譜の訂正

□ 「ゆらゆら春」

・9th コンサートのバージョンでうたいます。1番目全部と2番目

の「～季節は流れゆく」までソロ、2番目の「空の下の～どこかどこか」はデュエット、それ以降の「春待つ人の心に」から最後までと3番目は合唱。

・24小節目に全音符を追加する。（各パートとも「どこかどこかどこか」の「か」を6拍のぼす。）

・歌詞；2番目「きつといつかそうさ（そうさ）」3番目「きみもほうらそうさ（そうさ）」確認。

□ 「死んだ男の残したものは」

・16小節バリトン、バス；「しんだおとこの」の「し」の8分音符、E♭→C 訂正確認。

・85小節、89小節の歌詞；「ほかにはなににも」→「ほかにはだれも」 訂正確認。

□ 「道」

・33小節「あたりは火のうみ」の「あ」の8分音符、D→C訂正確認。

・コンクール時は時間内に収めるため、前奏を短くする。

立川さんの応援ありがとうございました！

大阪府中央区市会では立川さんが立候補し、うたごえの仲間も応援して4か月宣伝活動にまい進し、前回得票を1.8倍にのばしましたが、惜しくも届きませんでした。この間の皆様の応援に感謝します。引き続き、5月17日のいわゆる「都構想」住民投票に「反対」投票の呼びかけに力を注いでいきます。

（昴・立川さんを励ます会）